見る！聴く！話す！政策提言重視の議員活動を実践！ Become power to change Hanyuu.

羽生市議会議員 【無所属】

# 中島なおき

市議会
活動レポート Vol.61
H29 秋号

平成18年に政治活動を始めて以来、継続して皆様にお届けしているレポートです。

Continuity is power！

Seesaa BLOG 中島なおき facebook 中島直樹

略歴 S47年11月生まれ(44歳) 184㎝ 75キロ 埼玉栄高校普通科 日本福祉教育専門学校 社会教育学科 日本大学法学部政治経済学科卒 児童福祉施設 鴻巣市社会福祉協議会勤務を経て H19年羽生市議会議員一般選挙初当選 H26年話題づくりを最優先とした市政運営に異を唱え羽生市長選挙に立候補するも次点落選 選挙後、家族の生活を守るため民間企業に就職 H27年再び羽生市議会議員一般選挙に立候補 市議選史上最高得票を賜り3度目の当選 現在に至る ●NPO法人地方議会制度研究センター副代表理事 第2期若手政治家養成塾副代表 青年地方議員の会監査

## H29年度9月定例会閉会

9/4から9/28の日程でH29年度9月定例市議会が開かれました。H28年度一般会計歳入歳出決算の他、7つの特別会計歳入歳出決算、H29年度一般会計補正予算案、2つの条例改正案など、市長提出の15議案が上程されました。全ての議案が原案どおり、認定、承認、可決、同意されました。議案第41号 第6次羽生市総合振興計画基本構想については、継続審査となり、特別委員会に付託され、H29年度12月定例市議会の初日に採決が行われます。

●**藍染議会を開催** 9月定例会は「藍染議会」と命名。今年で9年目を迎えました。初日と最終日は本会議出席者全員が藍染シャツを着用し審議を行いました。9年目となるとさすがにメディアの取材はありません。(笑)

●**教育委員会委員に平野博之氏** 羽生市教育委員会教育委員のうち、古市明委員の任期満了に伴い、あらたに平野博之氏(ひらの内科胃腸外科院長)の任命が同意されました。(投票表決 賛成13:反対0)

●**「市議会議員として自覚と目的意識を持ち行政視察を行うことに対する決議」が可決！**

昨年の行政視察で、議員が宿泊施設や石川県警に多大な迷惑をかける事態を起こしました。このことを受け議員提出で上記決議案を上程。賛成全員可決されました。決議内容については9/28の拙ブログにPDFで貼りつけました。ご確認ください。

中島なおき (決議案の採決の様子)

決議案が上程、可決されたことをきっかけとして、市議会議員の政務活動費の使途のネット公開、視察報告書提出の義務付け、視察報告書のネット公開を行う方向で一気に動き始めました。

## 毎年恒例！議会報告会！

日時 11月 4日 (土)
10：00 ～11：30
場所 中央公民館 1階集会室

お声掛けいただければどこへでも出張にて議会報告会を行います！連絡は下記まで！

活動報告、情報公開を目的として毎年行っている報告会です。(上写真は昨年の様子。)駐車場に限りがあります。市民プラザの駐車場もご利用ください。

## 土地使用貸借期限を延長！

埼玉医療生活協同組合より、「土地使用貸借契約延長のお願い」が提出されました。これを受け、羽生市は組合と締結している契約の一部の変更契約を締結します。

①引き続き土地使用貸借とする。(無償)
②契約期間を1年6か月延長する

現契約期限 H29 年 11/5
延長契約期限 H31年 5/ 5

## 相談をお受けします！

次期統一地方選挙(羽生市議会議員選挙・埼玉県議会議員選挙)はおよそ1年半後の平成31年4月。羽生の将来を憂える、志ある方からの相談をお受けします。条件は1つ。政党籍を持たない無所属であること。遠慮なく下記までご連絡ください！

右写真は若手政治家養成塾塾生としての活動の一コマ。当時、フジテレビで大きく取り上げられました。

発行:羽生市議会議員 中島直樹
市議会活動レポート Vol.61

〒348-0071 羽生市南羽生 4-17-2
☎070-6488-4588
✉japanist0422@live.jp


※ メールでご連絡いただく際は、送受信トラブルを防止するため開封確認付での送付をお願いいたします。

友好都市の福島県金山町沼沢湖水まつりにお招きをいただきました。2日目には羽生市議会を代表してステージ上でご挨拶！

9月18日。市内9カ所で一斉に敬老会が行われました。今年は川俣地区でお祝いの言葉を述べさせていただきました。

須影小学校運動会 玉入れに参戦！

懲りることなく走ってます！しかし、夏はキツイ…。

八潮市議会議員選挙にて。朝田和宏候補、福野みちる候補の応援でマイクを握りました。TX 八潮駅前の開発には驚きです。

佐野市で行われた治水大会。利根川沿いの市町村議会が大集合。

市議会でボートレース戸田を視察。羽生市は都市競艇組合の構成市であり、売上金は毎年羽生のまちづくりに活かされています！

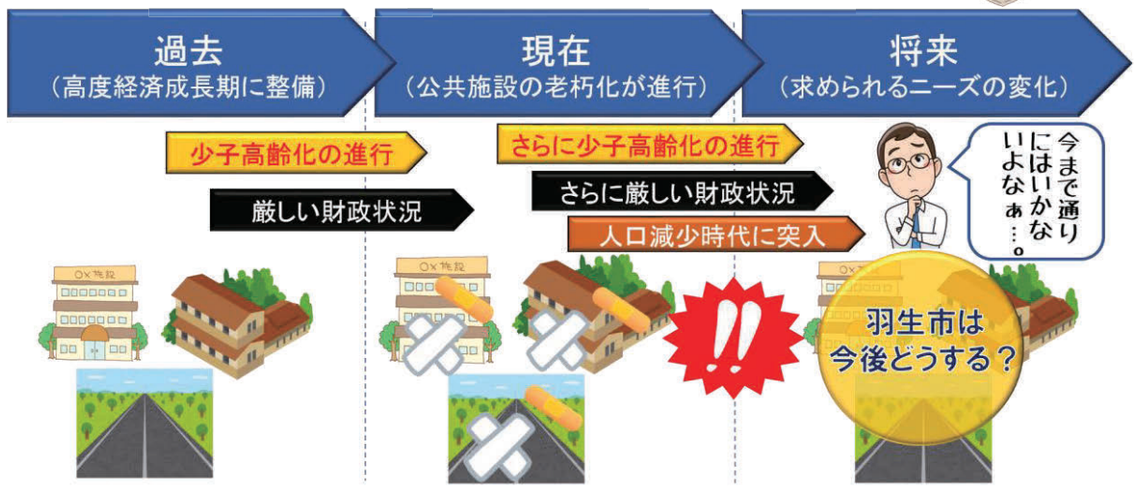
梅雨の晴れ間に那須岳へ。もちろんロープウェイは利用せず(笑)麓から3座(朝日岳、三本槍岳、茶臼岳)を縦走。心身ともにリフレッシュ！

# H29年9月定例会 中島なおき 36回目の一般質問

## 繰り返し先送りされる公共施設の統廃合。将来のため、一刻も早い着手を強く訴える！

人口減少による税収の伸び悩みが予測されるなかで、高齢化社会の進行に伴う社会福祉関連経費の増大による財政の逼迫が現実となっています。こうした中、公共施設の全体を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の適切な配置を実現していかなければなりません。そんなことから、平成26年4月に総務省から公共施設等総合管理計画の策定の要請を受け、羽生市も公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するために羽生市公共施設等総合管理計画を平成28年3月に策定しました。この羽生市公共施設等総合管理計画には、残念ながら統廃合する具体的な施設や日程は記されませんでした。しかし、市内全ての公共施設などの維持管理にかかる明確な費用が記されました。

**この先40年の総額はなんと！ 620億円（推定）**

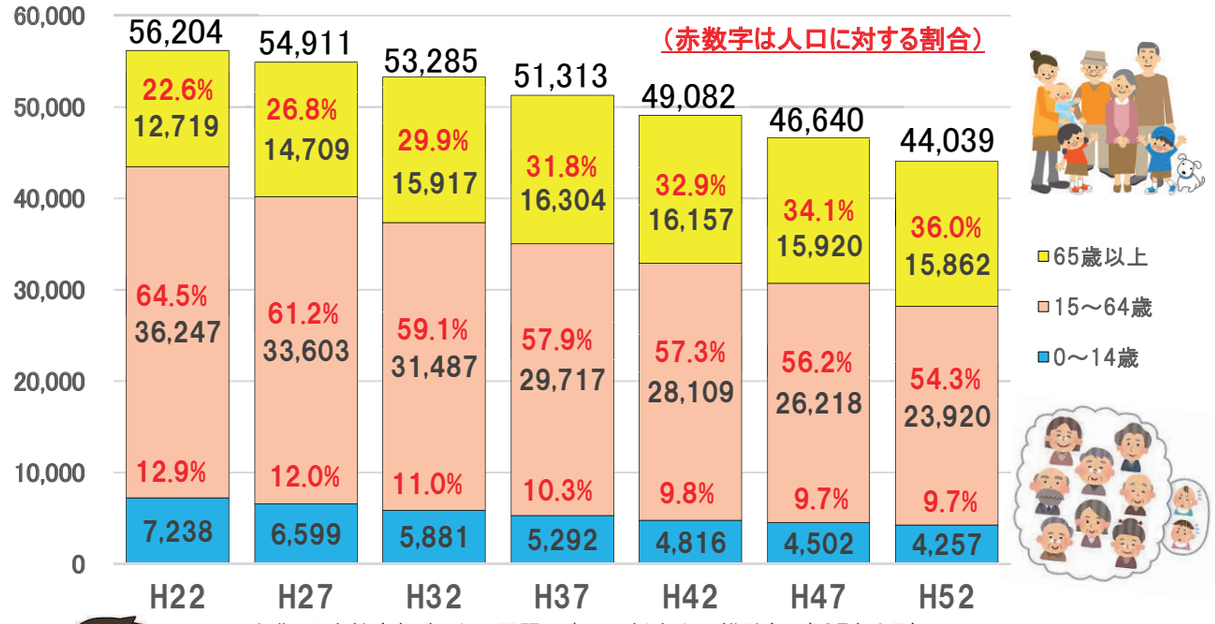



## 公共施設の統廃合に関する羽生市の議会答弁を振り返る。

- ●H19年3月定例会 企画財政部長 ・第4次羽生市行政改革大綱集中改革プランに掲げている。3つのプロジェクトチームの検討結果を待ち、施設のあり方を導き出したい。
- ●H21年3月定例会 企画財務部長 ・第4次羽生市行政改革大綱集中改革プランに掲げている。社会状況の変化により、目的が薄くなったもの、代替が可能な施設については廃止を積極的に推進する。
- ●H22年3月定例会 企画財務部長 ・女性センター、保育所、中央公民館を統廃合の検討課題としている。
- ●H23年3月定例会 企画財務部長 ・第5次羽生市行政改革大綱・前期行政改革プログラムに位置付けており、その計画に沿って統廃合を行っていく。
- ●H25年3月定例会 市長 ・公共施設の統廃合を引き続き推進し、自立した行政運営を目指す。
- ●H29年9月定例会 企画財務部長 ・羽生市公共施設最適化プロジェクトチームでの検討結果を待ち対応する。

羽生市は人口10万人構想を掲げ、都市整備を行ってきました。しかし、現在は見直されています。羽生市人口ビジョンにおける H47年の市人口は4万6千人。今後、少子化、高齢化はさらに進みます。この10年、公共施設の指定管理者制度導入、業務委託などのアウトソーシングは確かに進みました。しかし統廃合を進める！と答弁を繰り返しながら、廃止した施設はあだたら高原少年自然の家と第5保育所のみ。公共施設の在り方を抜本的に見直さなければ、次世代に大変な負担を残すことになってしまいます。過ぎた時間は戻りません。一刻も早い、より具体的な統廃合計画の策定を今回の一般質問で強く、強く求めました。

## 羽生市の将来人口推計（年齢3区分別人口と割合）




出典：国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計（平成25年3月）

**上表から今後、少子化、高齢化はさらに進み、生産年齢人口が減っていくことが分かります。現在、多くの自治体が公共施設の統廃合に取り組み始めています。**

## 繰り返し行った再質問に対し、現状を打開すると思われる重要な答弁は4つ。

1. これから40年で公共施設の維持管理にかかる経費620億円が市財政を圧迫することについて市長が「危機感を持っている。」「市民に迷惑はかけない。」と答弁。
2. これから40年で公共施設の維持管理にかかる経費620億円が市財政を圧迫し、将来の羽生市民の負担になってしまう現状を市長が「市民に公表をする。」と答弁。
3. 「公共施設の統廃合の方向性を今年度中に示す。」と企画財務部長が答弁。
4. 「学校の統廃合は行わない。しかしプールなどの学校施設の統廃合は進めたい。」と教育長が答弁

道路や小中学校以外の公共施設を利用する機会はすべての市民にとって均等ではありません。だからこそ、施設利用にかかる負担を将来世代にツケとして回して良いはずがないのです。これまでの行政は「富の再分配」が大きな仕事のひとつでした。しかし、これからの時代、行政も我々も「負担を分かち合う方法」を積極的に考えていかなければなりません。過去の議会答弁をみて理解できるように、公共施設の統廃合問題は先送りされ続けてきました。これ以上の先送りはもう許されません。経過の注視が必要です。

**時代に合わせた公共施設のあり方をみんなで考えましょう！**